



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN's CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops

Chartered
10th July 1994

5月号

第17巻
第11号
通巻203号

倉卓也会長主題：『あしたのために』～一步一步を大切に～

国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ~世界のワイズが輪になって~
メネット主題 「愛の心」 ~原点に立ち返って私たちに出来ること~

会長: 倉卓也
副会長: 新山 堅一
加藤 清一
書記: 藤田 正康
笠井 俊明
会計: 東田 吉未



マタイによる福音書

西浦 功 ys選

父母を敬え、また、隣人を自分の様に愛しなさい。

「トップスビジョン！！」

ビジョン委員長 船木 順司 ys

中堅に成ろうとするメンバーが約一年前に『日本一のクラブにするんや！』と叫びました。あの時メンバー一人一人どう感じたのでしょうか！？

私は、17年前にキーメンバーとしてトップスクラブに移籍した時、同じように日本一のクラブにしたいと思った事を思い出し、非常に懐かしい言葉で忘れかけていたあの頃の激しい気持ちが蘇ると同時に何とかこの言葉を実現出来るようなクラブ体制が出来ないかと新たな意欲が湧いて来た事を覚えています。

一年が経過した今、メンバー増員が著しく日本一も夢じゃない、そんな気がします。同時にクラブの体制作りが急務と成って来た事は言うまでも無く、ビジョン委員会に於いて短中長期のクラブ作りに付いて毎回議論が成され、メンバー増員と同時に次々に現れる課題をテーマに何時も嵐が吹きまくる委員会となっています。・・・委員会の日は寝つきが抜群ですわ！！

例会や事業に於いては、常にポジティブなムードで行われ、新メンバーは右往左往、中堅は走り回り、古参は老体に鞭打ち、笑い声と笑顔が耐えない。これが今のトップスです。それぞれのメンバーが理屈じゃなく行動で自分のポジションを確認している様に私には感じられます。着実に前へ突き進んでいる事は事実です。このモチベーションを保つ為にメンバー一人一人が自分のポジションを理解し、やるべき事を確実に、思いっきり楽しむクラブライフこそが、日本一のクラブに成る近道です。日本一に成る下地は出来つつあります。ビジョン委員長として3年間クラブを冷静に見つめて来た私は今そんな事を覆いながらこのプリテンを書いています。メンバー全てが同じ方向を向いているトップスクラブ、私は大好きです。これからも宜しくお願いします。

エコ標語

夕食は家族とろって頂きましょう。

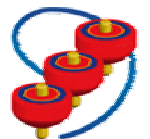
ガス代電気代の無駄も省け夫婦の会話も増えるかも

廣田隆治 作

5月強調月間

Leader Training

実務に主体性を置き、10年度の全事業に徹底する。
できる限り事業に反映させ、西日本区全体の発展に繋げる。



The Y's Men's Club of
Kyoto Tops

4月報告	第一例会出席		B F ポイント		スマイル		ファンド		献 血	
	メンバー数 (広義会員3名含)	34名	現金 切手	0円	4月	8,000円	4月現金	0円	4月	400cc
	出席メンバー	31名								
	ゲスト	6名								
	メ ネット	0名								
	メーキャップ	0名								
	出席率	94%	累 計	0円	累 計	83,300円	収益累計	877,162円	累 計	1600cc



四月も後半にさしかかり、美しかった桜の開花の季節も過ぎてしまいました...今年メンバーの皆さん花見には行かれたでしょうか？ 3月11日の東日本大震災の影響で各地でお祭事は自粛され今年も単独で見に行かれた方も多いのでは...？ 震災や被曝で被災された方たちには心よりお見舞い申し上げます。そしてみんなで元気をだしてもらい一日も早く復興を願うばかりです。

さて、4月と言えばクラブ例会ではYサ ASFの強調月間で毎年YMCAのリーダーに来てもらって活動報告をして頂いています。今年も私たちが日ごろお世話になっているリトセンのリーダーに来てもらって発達障害児サポート活動のスピーチをして頂きました。障害のある子供たちに自然体験や野外活動を通じて仲間たちやリーダーとの協調性を養い、社会性を身につけさせるといったボランティアで根気や柔軟性が無ければ難しいような活動だなと思います。あえてこの道に踏み込んだリーダーたちはエライ.....！！ 社会福祉の道を迷わずに選び、それらを大学在学中に経験を身につけ卒業されても福祉の仕事に携わって活躍して欲しいものです。活動における楽しみ目的ややりがい等を感じて子供たちに接していれば必ず子供達は少しずつ変わっていく事でしょう。寺井の易子はん古閑のさやかはんこれからもガンバって下さい。私たちが日ごろリーダーと関わる機会があまりないので活動報告はいつも新鮮に感じ、考えさせられる部分が多くあり本当に勉強になりますネ...。私たちはもっともっとリーダー達と関わって爪の垢でも煎じていただきたいものです...トホホ...

それではメンバーの皆さん震災の影響で物の流通が閉ざされ仕事にもかなりの悪影響が出ていると思われるがここは踏ん張りどころ...東北地方の復興のボランティアやクラブ活動に各自の事業に精一杯働きましょう！！ お疲れ様です！！

リトセン夜桜フェスタ

2011/4/17
乙坂 優次 ys



去る4月17日、毎年恒例の夜桜フェスタがワイズやリーダー、留学生等多くの仲間が集まり盛大に開催されました。ステージでは和太鼓やバンド、ダンスグループが会場を盛り上げようと懇親の演技を披露、中でも夕暮れで少し肌寒さを感じる中、ベリーダンスの衣装に身を包んだ美女二人による踊りは会場の特に男達の目を釘付けにし、私もついカメラのシャッターを押してしまいました。

屋台村では今回トップスは串カツ屋さん、郁佳女将の手際の良さと美味しいカツが次から次へと出来上がり、口にしたお客さんの顔は満面笑顔、リピーターも出るほどの盛況振り、大きい声では言えませんが、用意したメンチカツはオープニングセレモニー時には売り切れゴメンの状況でした。

肝心の桜は？という『つぼみ膨らむ』状態。ライトアップはされましたが歓声には至らず、来年に想いを込めて足早に会場を後にする参加者の姿が印象的でした。

トップス参加者は、倉会長・舞田Ys・小林Ys親子・ニイヤマYs・西浦ファミリー・東田ファミリー・船木Ysと私&孫の総勢17名でした。舞田委員長代理、お世話様でした。



次期役員研修会

2011.3.13
西浦 功 ys

4月2日～3日と1泊2日でアピカルイン京都にて、次期役員研修会が行われました。PM1：00より倉会長の挨拶に始まり、各委員会事業検証の報告がなされました。特に献金の事で色々な議論が交わされた事が頭に残りました。クラブに入会した以上、献金等は仕方が無い事と思っておりました。Yサ・ユース、TOF、BF、CS、FFと献金の意味、使いみちに何の疑問もありませんでした。今会の研修会に参加して、献金のみならず、色々な事の意味を知り、理解し、自分自身の考え方を確立できるようにならねばと思いました。緊張感ある初日が終了し、夕食の後のフリータイムで町に繰りだし、飲んで、食ってと朝まで、大騒ぎしてしまいました。周りの方には大変な迷惑をかけて、本当に反省しております。次の日は9：00からのスタートにもかかわらず8：50迄熟睡してしまい、目が覚めた時には、やってしまったという感じでした。すぐに顔を洗い、会議に参加しましたが、終わるまでボロボロであったと思います。こんな私ですが、ブリテン広報の委員長に任命して下さった事を誇りに思い、頑張っていく所存でありますのでよろしくお願い致します。

東北大震災街頭募金

2011/3/27
小林 郁佳 ys

3月11日の地震はテレビで見えていました。防波堤を超える海水をただテレビのフレームに囲まれた画像で観ているだけでしたが私が想像する津波とは違い大きくせり上がる海面が見る見るうちに工場や家やビルを破壊する映像でした。まるで映画のシーンのようで本当の事なのかと疑うことしか出来ません。

次の日、陸前高田の様子、南三陸町の映像に仙台空港が波に洗われた状況は昔どこかで見たような気がしたのです。そう、太平洋戦争末期の空襲で廃墟となった東京下町や大阪、また広島や長崎の様子と非常によく似ているではありませんか。またある町では1万人が行方不明・・・そして海辺に100人の遺体が流れ着いているとか牡鹿半島には千人ほどのご遺体があると・・・頭の中にだんだんとナニが起こったのかがぼんやりと浮かびます。テレビでは映せなかった地域で地獄のような状況が起こったということが・・・ナニかをしたいと思いたすが場所が場所だけに即応が出来ません。しかし会長や書記さんからの連絡で3月27日トップスクラブをはじめ京都部のみなさんが市内に展開し募金活動をしてくださり私も微力ながら子供と一緒に参加させていただきました。市民の皆さんはあの映像を目の当たりにしておられたのか多くの方が募金に協力してくださいました。九州部でも中西部でも阪和部でも琵琶湖部でもおそらく西日本区が一丸となったことでしょう。

募金をする中でワイズメン以上に現在の状況を肌を感じているのは子供たちだったのか、映像を敏感に感じるナニかを持っているのか、いつもの募金とは違う大きな声で募金を呼びかけてくれるのです。照れる事無く大きな声で『ご協力ヨロシクお願いします』と！募金が終わるといつもの笑顔に戻りましたがその笑顔に大人が救われますし誇らしく思います。関東大震災に遭遇した『路傍の石』の作家山本有三がその手記の中で大人たちが怯える中で幼い子供たちが笑顔をつりまくことに逞しさと力強さを感じたと書いているように早く被災地の子供にも大人にも笑顔が戻ることを祈ります。

今、この原稿を書いている瞬間もYMCAやワイズの方々には避難民の援助や復興に携わっておられる事でしょう。私たちはこれからも微力ではありますが力添えをしていきたいと思うのです。最後に山本有三の言葉を一つ『われわれはどんなに逃げた所で大地の手のひらの上にいるのではないか』 みんなで東日本の復興に力を結集しましょう。そして子供たちに笑顔を取り戻しましょう。

EMC・ファンド合同ゴルフコンペ

2011.4.14
笠井 俊明 ys



今期2回目のトップスクラブゴルフコンペが滋賀県ディリー信楽カントリークラブで開催されました。八日市クラブの次期会長郷戸ワイズと前回に続きメンバーズゲストの後藤さんが参加していただき総勢12名となりました。天気は絶交のゴルフ日和で、池の多い距離もあるコースを楽しみました。プレー後、パーティーで成績発表となり優勝は牧野EMC委員長、2位に田頭さんが入られました。ちなみに私は3位。各賞の発表の後、注目は競馬の配当。前回からのキャリーオーバー分があり今回と合わせて相当の金額になっているはず。結果5名の当たりが出て

会場多めに盛り上がりました。最後に今回八日市クラブの郷戸さんとの出会いが楽しかった。いろんな話が出来ました。これを機会にクラブ交流が出来たらと思います。

今回のファンド収益は50,247円となりました。参加者 倉会長・河原祥博・高坂・小林・東田・牧野・田頭・宮尾・平間・郷戸・後藤・笠井

写真は語る

山田 誠 ys

「もう一度」



40歳を過ぎてから本当に駆け足で日々が過ぎ、あっという間に今年で51歳を迎えました。小学校時代から野球を始め、中学・高校の時は全国大会出場を目指し毎日練習にうち込んでいました。今から考えても練習は想像以上に厳しかったと思いますが、今でもそのことが苦痛に感じたような思い出はなく、練習すれば必ず結果を出すことができると思い、常に全力で取り組み、毎日がとても楽しく充実していたように思います。その結果、中学・高校時代は京都では常に上位の位置にもいることができました。努力すること、自分自身が楽しんで挑戦することを覚えたと思います。

YMCAに入職してからは、たくさんの子供たちと水泳、陸上、ドッジボールというスポーツを通じ、今度は指導者として大きな目標を持って約30年近くの年月が過ぎました。まだまだ満足できていないこともたくさんありますが、ほんとうにたくさんの子供たちと一つの目標に向かって挑戦できたと思います。指導者としてもこれからも挑戦し続けていきたいと

思います。ただ、昨年人生の中ではじめて手術を経験したことで、もう一度競技者としても何かに挑戦したい気持ちが強くなり、来年の京都マラソンにエントリーし走ることを目標に、今年度どこかでフルマラソンに挑戦できればと思います。もう一度自分自身が挑戦できる楽しみを味わう為に。

田頭 邦彦 ys



「メンバーズスピーチ」では、語れなかった私の過去の履歴を紹介させて頂きます。昭和40年2月に大阪にて、この世に誕生して参りました。男性です。物心付く前に、奈良に引越したらしく、大学出るまでは、ずーと奈良でした。極々普通の男の子であったと思います。姉の影響？で中学から軟式テニスを始めたのがきっかけで、それから私の中で何かが変わったのです。どうせやるなら「日本一」になりたい！中学3年の夏のことでした。県内の強豪高の監督さんが雪の降る中、自宅までオファーにきてくださいました。嬉しかったですし、鮮明に覚えています。勿論、その高校に入り年がら年中、朝から夜まで練習の毎日でした。上下関係は半端じゃなくきつかったです。でも、死にもの狂いで頑張りまし

たよ。お陰様で、3年の近畿大会・インターハイで見事優勝することができました。「やるな俺も」と一人呟きました。

次は、大学です。もう一度「日本一」になりたい！と欲が出てしまい、やっちゃいました。大学4年の時でした。シングルスでは、関西・西日本は優勝できたんですが、全日本は、マッチポイントを取りながら負けてしまいました。今でも悔やんでますが・・・また、クラブで言えば西日本区の理事長のようなポストも任せられました。VIP待遇で気持ち良かったです。次は、社会人です。奈良から出たことのない私が、京都へ。それも銀行でした。京都国体強化選手としての、今度はオファーでした。正直迷いました。テニスはOKだけど、俺が銀行員？みたいな感じです。最後は、まいったみたいな乗りでした。単純です。その銀行は潰れてしまい路頭に迷いました。結婚もし、子供も2人いてましたから、これからどうしようと・・・不安でしたね。そんな時です、またまたオファーがきました！今やってる仕事ですが、また一人で呟きました。「俺って持っているなー」と。写真は、6年程前に3番目の息子と撮った写真です。運の付いてる子に育ててほしいものです。最後に、長々と自慢たらげな下らない文章を一読頂きましてありがとうございました。こんな私ですが、今後とも暖かくお付き合い下さいね。

渡邊 與志夫 ys



島根県出雲の山奥から夢と希望を抱いて1956年春京都の地に出る、東山泉涌寺で、陶芸作家活動をしてられる松本爲佐視陶房に陶工の修行に弟子入りし、修行に励む、都会の生活にも慣れ、酒も覚え先輩に誘われナイトクラブに通い始め、その先輩がすごくダンスが上手で、自分も社交ダンスを覚えたくなりレッスンに通う、そこで運命の人に出会う、4年間の交際の末、結婚、その人が今の妻です。

昭和42年に第1子長男を授かり、2年後には次男が生まれ幸せの絶頂でした、3ヶ月になった赤ん坊を抱いて写った1枚の写真です、父親になった責任を感じてか？不安そうな顔をしている自分、今から思えば若いころです。・・・二人の子供が結婚、独立するまでいろいろ人波に苦労もしました。喜びも悲しみも又 人生、明日はわからない だから今を大事に・・・（抱かれている3ヶ月の長男 隆志今年43歳 大阪電通大学教授、次男 顕 今年41歳 介護福祉士）として二人とも頑張っています。1枚の写真を選ぶのに久しぶりにアルバムをゆっくり見る機会をいただきブリテン委員長、委員の皆様へ感謝。

最後になりましたが、3月11日に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福を心中よりお祈り申し上げますと共に被災された方々の一日も早く復歸されることを微力ながら京都の地より応援させていただき思っています。

東日本大震災で被災された多くの方々、不安のただなかにある方々 お一人おひとりに思いを寄せて

ネットワークは繋がることであり、情報やノウハウや知識の共有も繋がることの一つです。インターネットで世界が繋がることも、私たちのネットワークの力を大きく変革させました。また、繋がることは、人と人が出会い、相互に理解しあうこと、そして喜びや感動を共にすることが魅力でもあります、YMCAやワイズメンズクラブの喜びでもあります。しかし、本当に繋がることは、悲しさ、辛さ、心の痛みを共にすることを伴います。

日ごろ私たちは「言葉ではなく行動であらわしなさい」と訴え、自分自身を戒めます。私たちは自分自身が、災害や重い病にかかったり、心に大きな傷を負うなどした時に、初めてこれまでの自分の行いが「言葉だけ」であったことに気づき恥じることが往々にしてあります。これこそが人間のもつ弱さであると思います。

繋がることで、痛みや悲しみを共に感じて相互に助け合う関係で、私の好きな日本語には「お互い様」という言葉があります。英語では「ありがとう」に返す言葉、これは「MY PLEASURE:私の喜びです」という言葉があります。このような関係で支えあうことが大切ではないでしょうか。そして、共に力を合わせることで「希望」を創りだし、その希望を大きく確かなものにできればと思います。

今、私たち一人ひとりができることを、そしてグループでできることを、それぞれの方法や時宜に、長い期間にわたって思いを寄せることが求められています。皆様の尊いご支援とご協力をお願いいたします。

1. 定期会員総会のご案内

日時 5月28日(土)午後5時30分～
場所 京都YMCA三条本館マナホール
会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。お問い合わせ 電話(075)231-4388

2. 第7回京都YMCAかもがわチャリティーラン参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、YMCAが提供するキャンプに障がいのある子どもたちが参加できるように支援するプログラムです。健康に走れる者が感謝の気持ちを持って走り、その喜びを参加費や協賛金として寄付するものです。数多くの方のご来場をお待ち致しております。

日時 5月22日(日)午前9時～午後3時 雨天決行
場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋～出雲路橋1週1.7km / 北大路橋～出町橋1週5.1km)
種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円) / グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円) / 一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円) / ペアラン(1チーム1,000円)

スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。
協賛金 一口 10,000円(企業・団体) 一口 5,000円(個人)

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品
お問い合わせ 電話(075)231-4388

3. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時 キャンプ・デイキャンプ会員

6月7日(火)～8日(水) 午前10時～午後7時

会員・一般 6月9日(金)～ 午前10時～午後7時

電話(075)231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月7日(火)～8日(水)の期間に限り電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX (075)251-0970

Eメールcampmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール・鉄棒・とび箱が好きな教室

会員 6月10日(金) 午前10時～

会員・一般 6月10日(金) 午後2時～

電話(075)255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

4. ボランティアセミナーのご案内

ボランティアセミナー「死に向かい合う - ホスピスでの経験から」田村恵子さんからのメッセージ

講師 田村恵子氏 日本に200人いる日本看護協会認定がん看護専門看護師のバイオニアのひとり。ホスピスでがん患者を最後まで看取り、家族への看護にも取り組む姿勢がNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で2008年に放映され、反響を呼ぶ。現在淀川キリスト教病院・ホスピス主任看護課長。

日時 6月25日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

がん患者さんとそのご家族へ 第52回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 5月21日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

または vb@kyotoymca.or.jp

スケジュール

5月・6月

5月13日(金)	CATT合同例会
5月22日(日)	チャリティーラン
5月25日(水)	役員会
5月29日(日)	ぐんぐんハウス焼肉交流会
6月4日(土)	東日本区大会
～5日(日)	
6月11日(土)	西日本区大会
～12日(日)	
6月18日(土)	引継例会
6月27日(水)	役員会